

**製品名: 嗅覚受容体 52N4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15268**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	36kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OR52N4
別名	OR52N4; Olfactory receptor 52N4; Olfactory receptor OR11-64
遺伝子 ID	390072.0
SwissProt ID	Q8NGI2
免疫原	抗血清はヒト OR52N4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 272-321

**背景**

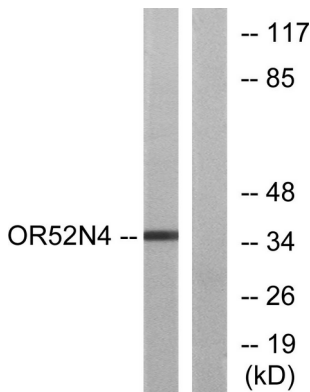
嗅覚受容体は鼻の中の嗅覚分子と相互作用し、匂いの知覚を引き起こす神経反応を開始します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多

くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識とGタンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: 嗅覚受容体、多型: このタンパク質をコードする遺伝子の Arg-172 位の終止コドンが機能的多様性の原因であり、擬似遺伝子が生成されます。終止コドンは、アフリカ系アメリカ人よりも非アフリカ系アメリカ人においてより頻繁に見られます。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。

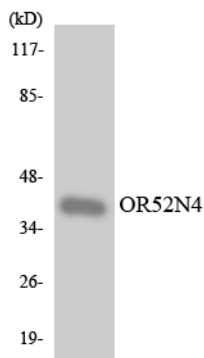
## 研究分野

嗅覚伝達:

## 画像データ



OR52N4 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



OR52N4 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



嗅覚受容体 52N4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

